



代田・九条の会 14周年 輝け憲法9条!

日本国憲法が公布されて11月3日で76年。48年に成立した祝日法で「文化の日」になり、おびただしい犠牲を出したアジア・太平洋戦争の反省の上に、戦争の過ちを繰り返さないという誓いが薄らいだように思えてなりません。

代田・九条の会は、全国九条の会の「日本と世界の平和のために日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、改憲の企てを阻むため、一人ひとりができるあらゆる努力を今すぐ始めることを訴える」というアピールを受けて、2008年11月3日に発足し14年になります

2022年7月の参議院選挙で改憲に積極的な姿勢をとる政党が3分の2超の議席を維持し、衆参両院で改憲発議する条件が揃ったといえます。岸田首相は所信表明で、国会の改憲発議に向け「これまで以上に積極的な議論」を期待すると表明。統一教会が国政選挙の際に少なくない自民党候補者に署名を求めたとされる「推薦確認書」の第一項目に憲法改正が明記されています。韓国に拠点を置く反国民的な謀略団体と一緒に改憲論議を進めることは許されません。

ロシアによるウクライナ侵略に伴い「他国から攻められるかもしれない」「9条で日本は守れるのか」という声も聞かれるようになり、ウクライナ危機に便乗し、大軍拡と九条改憲の動きを強めています。しかし、ロシアのウクライナ侵略は、ひとたび戦火を交えれば、双方が悲劇的な事態を招くことを示しています。

改憲派が3分の2以上を得ていますが、改憲が国民に支持されたといえる状況にはありません。3日の「憲法公布記念日」には、国会前(写真)4200人、新宿、渋谷などの地域集会、大阪3000人、京都1000人など全国で「輝け憲法」集会在各地で開催されました。



12日「全国首長九条の会」の総会と市民のつどいが行われ、保坂区長も参加。共同代表の川井貞一・元宮城県白石市長はあいさつ「首長は命を賭しても住民の命と安心を守らなければならない。そのためには、憲法九条は絶対に必要である。総力で九条を守ろう」と訴えました。改めて9条改憲阻止の草の根の運動を進めることが重要です。

代田・九条の会は、コロナ禍でつどいを自粛してきましたが、来年5月13日(土)ナザレン教会礼拝堂をお借りして四谷姉妹(予定)をお招きしてつどいを計画中です。みなさんと元気にお会いできるのを楽しみにしています。(代田5丁目・小澤清子)

集会等の紹介

**以下の案内があります。今後の状況によっては中止もありますので、ご注意ください。

12月18日(日) 13:15~ 第20回12月集会

憲法と教育の改悪を許さない!

第1部:核兵器の廃絶を目指して / 英語スピーキングテストの中止を求めて

第2部:東京の学校現場と運動からの報告

第3部:講演 歴史の教訓から考える 「国葬」、大軍拡、学問・教育統制

山田 朗さん(明治大学教授)

場所 : 全国教育文化会館 エデュカス東京7階ホール (地下鉄・麴町駅 徒歩2分)

主催 : 12月集会実行委員会

資料代: 資料代800円 Zoom 配信もあり

2022 年秋の憲法学習会「9条の危機~今こそ奮い立とう」 に参加して

11月2日(水)梅丘パークホールで行われました。司会は西村さん、生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会の上田さんのあいさつに続き、記念講演は伊藤千尋さんです。伊藤さんは朝日新聞の記者時代、特派員として各支局長を歴任し、退職後はフリーの国際ジャーナリストです。世界を見てきて日本の常識は世界の非常識と。

今戦禍の続くウクライナの話では、スターリンが「ウクライナの小麦はすべてモスクワに」と言ったように、ロシアの植民地扱いだったこと、ウクライナ人がナチスと戦った歴史を知りました。ウクライナの教訓は、侵攻した方もされた方も悲惨な結果になる、始めたらなかなか終われないこと。誰もが思っていることではないでしょうか。

日本政府はこの戦争に便乗して軍拡、改憲をろうとしています。伊藤さんが日本の軍事費は世界何位くらいかと学生に聞いたところ、100位くらい?との返答。今でも9位です。1位のアメリカは100兆円、2位の中国で27兆円。抑止論で相手と同じ戦力を持つとしたら生活そのものが破壊されてしまいます。また、対中国で南西諸島をミサイル基地化する計画が進行中ですが、台湾有事だといって、アメリカの海兵隊が南西諸島から中国にミサイル攻撃したら、海兵隊は逃げますが、島の人たちは逃げるところはありません。石垣島には憲法9条の記念碑があるというのに!

改憲について、参院選でも改憲派が3分の2を取りがっかりしている方が多いかもしれませんが、選挙で野党共闘ができなかったため諦めず、共闘していくことしかありません。ロシアの侵略で「憲法9条で国を守れるか?」という声があることについて、「国を守る」という考え方の本質は、国境を引いて向こうは仲間ではなく敵という発想なので、いつかは殺し合いに発展する、憲法前文の「われらは全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と記しているように、9条は国境を超えて人類を守ること。軍隊では国は守れない。前文はすばらしいですね!

よく米国からの押し付け憲法と言われるがそうではないと。9条は戦後の首相、幣原喜重郎が考えついたもので、原文が国会図書館にあるそうです。マッカーサーの回想記にも幣原から聞いたときは腰が抜けんばかりに驚いたと書いてあります。3時間の話し合いの末、命令として出して貰いました。24条(両性の平等)をつくってくれたベアテ・シロタさんのお話も。父母はウクライナ人です。伊藤さんに憲法9条と24条はアメリカの憲法にもない優れたもの。自分の憲法よりも優れたものを「押し付けた」って言いますか?と云われたそうです。

伊藤さんは世界の日本国憲法9条の碑を訪ね歩いています。足立区に6月に東京ではじめての憲法9条の碑が完成しました(写真:九条の碑を建立する会・フェイスブックより)。ぜひ行ってみたいと思っています。1949年に平和憲法を施行し、本当に軍隊をなくしたコスタリカの話もして下さいました。コスタリカは国連核兵器禁止条約の提案国です。日本は不参加。恥ずかしいです。年間国家予算の30%を占めていた軍事費は教育費に変わりました。高校までの義務教育は無償。大学の学費も格安。70%は奨学金。教育の目的は、誰もが一人の人間として意識でき、何よりも本人が幸せであること。他人の権利を認めることが平和につながる。人権と民主主義の国なのですね。ジェンダー平等も進んでいて、女性の国会議員は46%、完全比例代表制で名簿は女性が先で交互です。コロナ対策もまずは弱者から。



最後に、では今、何をすればいいのか。1989年11月9日のベルリンの壁崩壊の現場に伊藤さんは立ち会いました。きっかけは10月の東ドイツ・ライプツィヒの7万人のデモ(市の人口の1割以上)そのデモも、7年前の5人の若者が掲げたデモから始まったのです。東ドイツですから詳しいことは書けません。

「我々は考えなければならない」「我々は前に進まなければならない」と。ロシアの侵略では、テレビ局のマリナさんがニュース中にウクライナ侵略に抗議のメッセージを掲げました。沖縄の辺野古新基地に反対する人々の陽気でしたたかな闘い、杉並区長や選挙のときのひとり街宣や SNS 活用、国会前や全国各地での集会など、ひとりひとりが立ち上がって行動しました。韓国ではその力で国会で大統領弾劾を可決させました。市民の力で変えていける。今こそ、奮い立とう!元気をいただいたお話でした。

最後の閉会あいさつは、渋谷共同法律事務所の山田聡美弁護士でしたが、若く明るく、元気いっぱい、とても嬉しくなりました。61名の参加者。いい学習会でした。(代田4丁目・萱野 幸子)

~ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ~
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++